



# ポットラック

プロジェクト

REPORT 03

トーク&ワークショップ

開催日 2024/02/10 sat.

S&Dスポーツパーク富士見を起点としてさまざまな世代、さまざまに暮らす市民の皆さんにとっての居場所をつくっていく「ポットラックプロジェクト」のトークとワークショップが2月10日にクラブハウス2階ミーティングルームで開催されました。トーク16名、ワークショップ17名の方が参加され、公園を面白がることや、3月のイベントに向けてやってみたいことを話し合いました。このレポートでは当日の様子や出されたアイデアをご紹介します。

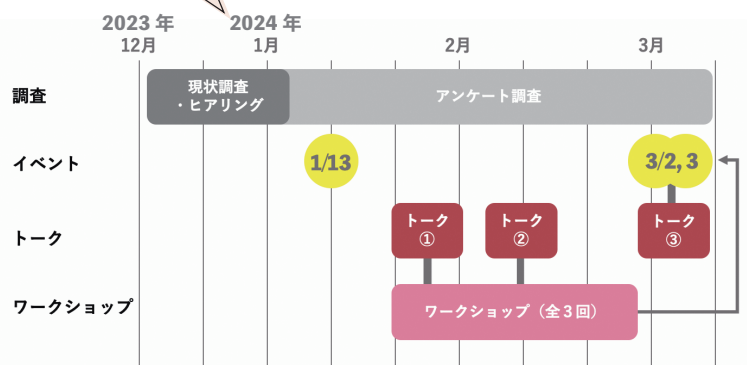
## ポットラックプロジェクトって？

**自分の楽しみ、やりたいこと、できることを持ち寄る。**  
**小さくはじめる、日常の公園あそび。**

本事業は地域の皆さん自身が、公園を「つかう」「つくる」「つなぐ」ことで、さまざまな世代、さまざまに暮らす皆さんにとっての居場所をつくっていく事業です。2023年度から3年かけて取り組みます。「トーク」「ワークショップ」「イベント」の3つのプログラムの中で、公園での過ごし方について考え、企画をつくり、実践。それを繰り返す行うことで、一過性ではない、新しいつながりと日常の中での過ごし方が生まれることを目指します。皆さんが普段の生活で愛用しているもの、やってみたくて思っていることなどを「持ち寄り（ポットラック）」してほしいという想いをこめて命名しました。



## 2023年度のすすめ方



2024年3月2・3日に参加者のみなさんと公園の過ごし方を試してみるイベントを行います。今回は「小さくはじめる」「TTP（徹底的にパくる）」を合言葉に、今みなさんができること、楽しいと思うことを持ち寄って企画しましょう。

## 面白がる視点と面白がる会

何かを企画するうえで大切にしているのは、「面白がる視点」。固定概念に縛られないよう心がけています。誰がやりたくて、何が幸せなんだっけ?を考えていくことが面白がることなのかと思っています。いろんなテーマで面白がる会を運営しています。面白がる会は関係する自治体の方、地域住民、テーマに興味がある人などが全員フラットにアイデア出せることを大切にしています。また、課題発見編と解決編の2部構成となっていて、解決編ではアイデアを出すアプローチは、ワクワクする未来を想像して、いったんぶっ飛んだ意見を出すのがポイント。そこから実現できるラインを探していきましょう。



## ねぶくろシネマ

自分自身の課題として、小さな子供がいるとなかなか映画を見ることができないことがありました。一方調布市の課題として、映画のまちとうたっているのに、映画を見る場所がそもそもありませんでした。そこで、「市民がほかのまちより映画を見ていれば映画のまち」、「野外の映画上映をしたい」、「子どもも見られる上映会を」、などのアイデアが面白がる会から生まれました。早速河川敷で映画の試写をしてみたところ、とても雰囲気良く、野外出映イベントを12月にやることに。どうやったら極寒の中でも映画を見たくなるかを考え、2時間くらいなら寝袋に入ればなんとかなるという発想で今の「ねぶくろシネマ」が生まれました。

そこから現在は、スポンサーがいたり他の地域でもやりたいと声がかかったりして、全国で53回も行っていきます。いろんな地域で横展開できたのは、自分自身の課題は、みんなの課題であり、それが地域の課題解決にもつながることだったからです。

## 素人が企画者になれる場

日本橋馬喰町では「スナック部室」という、好きでつながる部室イベントを運営しています。大人になると気軽に友達をつくる機会がないのではという発想から、和菓子部や関西人会などを企画し実施できる場をつくりました。「こどもいっぴんいち」は、子どもが売の商品から値段設定、販売のやりとりまで行うマルシェです。どちらも、これまでやったことがない素人でもやりたいことが実現できる場であることがポイントです。

## ポイント!!

一口に公園といっても砂場、遊具、椅子など様々な空間があります。今までの慣例や常識にとらわれないうまくわくする未来を想像してみてください!

### 面白がる会のルール

- 人の意見を否定しない
- 難しい言葉を使わない
- 年齢の上下はあっても偉そうにしない
- アイデアは思いついたらどんどん発表

### 誰もやってないことをやってみる勇氣

- 自分の課題は他のひとにとっても課題かもしれない
- 誰かの難しい課題を自分ごととして考えてみる
- 課題発見にはゆっくり歩いて目をこらすことも大事

STEP  
01

トークゲストの唐品さんによる「子ども広場を面白がる会」を開催。実際に広場に出て、遊具に登ったりしながらわくわくする使い方を考えました。



アイデアを思いついたら、みんなに共有



少し遠くから広場を眺めてみる



森の中にもヒントがあるかも?

STEP  
02

2つのグループでどんな面白いアイデアが生まれたかを共有。木の上にツリーハウス、ローラースケート場を使って〇〇レースを開催、巨大ハンモックをつくるなど様々なアイデアが生まれました。



STEP  
03

最後に3月2・3日のイベントで、どんな風に過ごしたいか、それぞれの日程に分かれて考え、子ども広場のミニチュアを使って発表しました。ここでは当日出されたアイデアをご紹介します。



過ごし方アイデア

- 持ち寄りキャンドルナイト
- 焚き火を囲んでまったり会
- 持ち寄り日本酒飲み比べ会
- 古い遊具をペインティング
- 健康体操&ダンス
- フリマ&物々交換
- 富士山滑り台の上(頂上?)でDJ
- 羽村市のおすすめ情報を集めよう
- キッチンカー出店
- 蓄電池の利用体験
- 森の中でハンモック
- 森林浴
- 公園の使い方アンケート
- チェアリング
- ダンス&アコースティックステージ発表
- ボッチル(ボッチ chill)フェス

